

～画像診断科へ紹介される先生へ～

画像診断科はCT検査・MRI検査を行う診療科です。獣医療においてCT検査・MRI検査は基本的に全身麻酔をかけて行います。獣医臨床センターは安心安全獣医療を掲げて診療を行なっています。検査をより安全に行うため、事前に動物の状態確認を行なった上でご紹介ください。以下に状態管理を行う際に事前に評価しておいて頂きたいチェックリストを記載しています。本チェックリストに記名頂き、紹介状およびデータを用意して飼い主様に持参していただくようご指示ください。

2022年4月1日

画像診断科紹介事前チェックリスト（確認したら□にレ点を入れてください）

- 獣医臨床センターは2次診療施設です。紹介は動物病院からのみ受け付けています。飼い主様からの予約は受け付けていませんので、予めご了承ください。
- 予約の際は、飼い主様の名前、動物の名前、犬種・猫種、年齢、性別、経過、貴院名、連絡先、疑う疾患名、希望する検査内容（例：CT検査、MRI検査（頭部、腰椎など）、CT+MRI検査など）をお伝えください。
- 検査当日は麻酔をかけるので絶食が必要になります。動物の状態によって絶食時間が変わります。不明な場合はお問い合わせ下さい。
- 検査当日は飼い主様に予約時間の15分前には来院し、受付を済ませるように指示ください。
- 動物の状態によっては麻酔をかけたり、造影剤投与*が困難な場合があります。その場合、せっかく来ていただいても検査ができない場合があります。飼い主様および動物の負担を減らすため、必ず動物の状態を事前に確認下さい。

* 造影剤腎症

腎機能低下によりCT用造影剤投与により腎機能低下が悪化することが報告されています。腎数値が高い場合は麻酔の可否に加えて、造影剤の投与量について検討する必要があります。単純撮影のみでは得られる情報が少ないため、事前に状態をしっかりと評価し、検査の必要性について検討した上でご紹介ください。

<以下の項目について用意し、検査当日飼い主様に持参して頂くようにして下さい>

- 経過および治療をまとめた**紹介状**
→ 紹介状および貴院でのレントゲン・超音波検査データ（DVDまたはUSBで用意ください）
- 血液検査結果（検査予定日1週間以内のもの）
→ 貴院での麻酔前評価項目を計測ください（足りない項目がある場合は当日、当センターで追加検査を行う場合があります）
- 胸部レントゲン検査（麻酔前評価として検査予定日1週間以内のもの）
→ DVDまたはUSBで用意ください
- 左心不全があればそのステージング→**ACVIM ステージ** _____
→ ステージC以上の場合や、その他心疾患が認められる場合は麻酔をかけることができないことがあります。心疾患が認められる場合はCT・MRI検査の意義について再評価ください。

日付 _____

貴院名 _____

お名前（サイン） _____